

開発途上国の大都市における基盤的交通システムの導入に関する研究：モンゴル国・首都ウランバートル市を例に

バタルゾリグ, マンダハイ

<https://hdl.handle.net/2324/2236213>

出版情報：Kyushu University, 2018, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

氏名	Baatarzorig Mandkhai		
論文名	開発途上国の大都市における基盤的交通システムの導入に関する研究 －モンゴル国・首都ウランバートル市を例に－		
論文調査委員	主査	九州大学	准教授 外井 哲志
	副査	九州大学	教授 趙 世晨
	副査	東海大学	教授 梶田 佳孝

論文審査の結果の要旨

本研究は、開発途上国における大都市部への急激な人口流入に起因する都市交通状況の悪化に対応するための都市交通計画について、開発途上国における現状分析とウランバートル市での交通実態調査にもとづき、住民の選好意識を反映した交通システムの選定方法を提案したものであり、交通計画学上重要な知見を得た価値ある業績であると認める。